

ごあいさつ

新春の候、市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は大津市議会が着実に進めてきた議会改革が全国から評価された年でありました。本市議会では、議会からの条例提案や政策提言を行うに当たって龍谷大学と連携し、専門的知見を積極的に活用してまいりました。この仕組みによって会派の枠を超え、「子どものいじめ防止条例」などを制定した実績が高く評価されたもので、地方自治体の首長や議会の活動実績を表彰する「第8回マニフェスト大賞」において、全国議会のトップとなる「議会グランプリ」を受賞したものであります。

わが会派といたしましては、今回の受賞によって全国から注目されている大津市議会の最大会派としてこれからも議会改革を牽引し、より市民に開かれた議会を目指していく所存であります。

最後になりましたが、市民の皆様には湖誠会にさらなるご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって希望に満ち溢れた年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

幹事長 竹内 照夫



- 前列右より  
北村 正二議員  
横田 好雄議員  
中野 治郎議員  
竹内 照夫議員  
青山三四郎議員  
武田 平吾議員  
鷲見 達夫議員
- 後列右より  
桐田 真人議員  
近藤 眞弘議員  
津田 新三議員  
園田 寛議員  
竹内 基二議員  
伴 孝昭議員  
八田 憲児議員

11月通常会議一般質問

八田 憲児議員 国民体育大会について

平成36年開催第79回国民体育大会の主会場の整備については、県と市が連携して積極的に行うことが市長の手腕だと思いが、本市の考え方を聞く。

現在、主会場の候補地として、滋賀県立彦根総合運動場・希望ヶ丘文化公園・びわ湖文化公園都市を選定されたが、本市は、大津市皇子山総合運動公園陸上競技場も県の条件に適合する市有地施設として、県に回答した。

一方で、県が候補地としている「びわ湖文化公園都市」は、広域交通アクセスや大学連携などのメリットがあることから、スポーツ拠点として期待できるものである。いずれの場合にしても、国体の主会場招致は本市の利益にかなうものと考えており、今後共、県における動きに対応していく。

伴 孝昭議員 消防団の災害における資機材の配備について

風水害において、地域の実戦部隊として行動するためにも、また集中豪雨の中で身の安全を確保しつつ活動する団員のためにも、一定の資機材の配備は、必要であると考えているが、当局の見解を伺う。

台風18号において、消防団装備の充実強化について、改めて認識した。このことを踏まえ、今後風水害に対応する水防資機材等を計画的に配備し、消防団の機動力を生かした実効性のある災害対応能力の向上を図っていく。

桐田 真人議員 瀬田駅と石山駅間における新駅設置構想について

大津市と同じく新駅計画が議論されていた草津市においては、新駅ができることでの問題点などを整理され、一旦凍結の方針を示されたところである。瀬田新駅構想に関して、大津市民と地域住民の皆さんが正しい情報をさらに共有していくことが何よりも大切であると考えている。大津市の見解について伺う。

草津市の新駅計画凍結方針が、大津市における新駅構想の動きに影響を与えるものではない。

今回の新駅構想は、JR西日本からの提案に端を発しており、現時点においては、JR西日本から本市に新駅を設置するかどうかの明確な意思と具体的な提示がない状況であり、本市としては、慎重な姿勢で臨んでいる。また、市民の皆様には、これからの議会の場を通じて市の取り組み状況と考え方を伝えるべく。

竹内 基二議員 近江大橋無料化に伴う交通対策について

近江大橋無料化に伴い、市街地に流入する自動車の交通安全対策について伺う。

市街地に流入してくる自動車に対する交通安全対策については「近江大橋無料化対策会議」において、幹線道路に接続する狭隘な生活道路への流入について、無料化後のシミュレーションが行われたところ、市道への流入量は、増加することが見込まれている。本市においては、市道への流入を可能な限り抑制するため、外側線やカラーの外側線を引いたり、ポストコーンなどを設けて車道の幅員を狭めるなど、視覚的に生活道路を通り抜けようとする車両が市道へ流入しなくなるよう、対策を講じることとしている。また、無料化実施後も対策会議において、対策を行った効果について引き続き検証されることとなっており、さらなる対策が必要な箇所について対応していく考えである。

近藤 眞弘議員 3年保育について

市長は、待機児童の解消と多様な保育ニーズの対応として、3歳児保育の推進を挙げられているが、平成27年度からスタートする「子ども子育て支援新制度」を控え、その導入についての考えについて伺う。

3年保育の導入については、まずは3歳児を含めた待機児童の解消に全力をあげると共に、子育てスマイルプロジェクト等の中で検討していく。また、教育環境整備や必要経費、幼児教育を互いに補充し合ってきた私立幼稚園との関係などの課題があるため、幼保一体化に向けた取り組みや公立幼稚園のあり方の検討なども踏まえ、全市の視野で議論していく。

武田 平吾議員 環境問題について

環境問題について、産業廃棄物処理事業や土砂埋め立て及び不法投棄などの度重なる問題事件発生抑制策や事業の許認可に当たり住民の意思の反映について、また、事業申請に当たり供託金の預託について、市の考えを伺う。

環境に関する事業の問題発生抑制や違法行為の防止を図るため、施設設置に伴う住民の不安を払拭するため、住民合意の仕組みとして規制の強化や対策などの制度の創設や条例の全面改正を2月通常会議に提案の考えである。

土砂埋め立てについては、あらかじめ許認可の際に保証金を預託させる制度を考えている。真野大野の不法投棄トラム缶については、1月中旬に汚染した土壌の撤去を完了する。



# 湖誠会は、市民の皆様とともに歩んでいきます。

～これまでも、そしてこれからも～



## ① 北村 正二

道路行政では161号バイパスの真野IC以南の4車線化や、小松拡幅の促進。また来春には和邇ICに「道の駅」が完成します。



## ② 津田 新三

副政調会長

堅田駅西口土地区画整理事業の力強い推進と町づくりの基本となる社会教育などのソフト事業の充実に皆様方と共に全力で取り組みます。



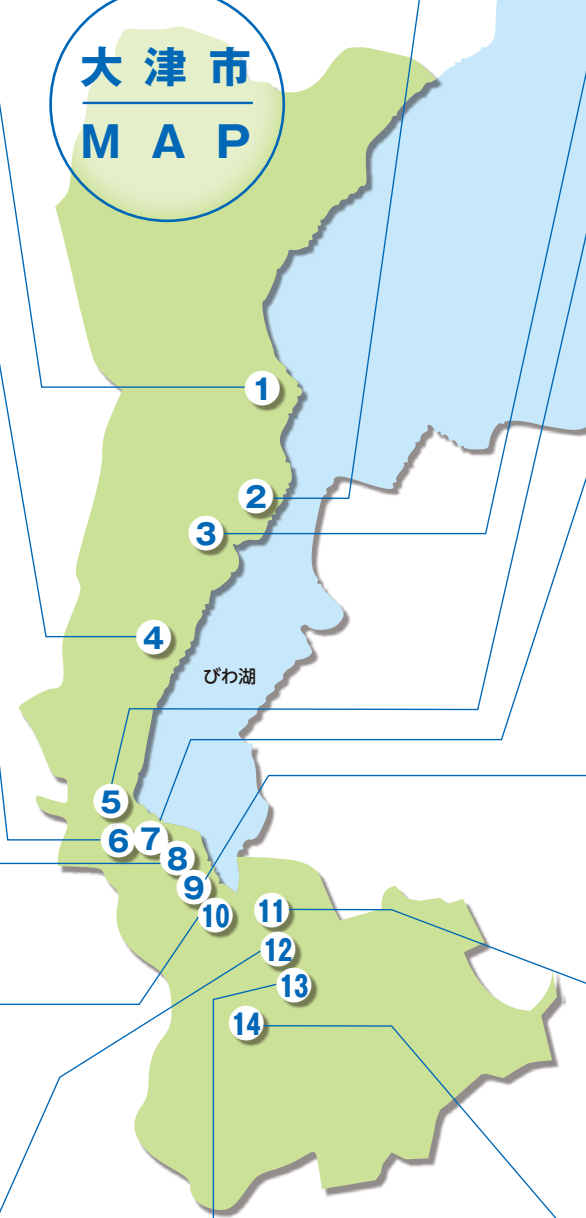
## ③ 武田 平吾

災害時に本領を発揮する県道伊香立浜大津線の平尾工区が本年竣工予定。悲願の全線開通に向け、促進協議会長として全力投球します。



## ④ 中野 治郎

人づくり、まちづくりに全力投球します。  
①未来を担う大津っ子の育成。  
②文化遺産を活かした比叡山坂本のまちづくり。



## ⑤ 八田 憲児

先人からの教えを守り知恵を生かし、正しい道徳心、倫理観、価値観を持ち、地域に根差した議員活動に専念します。



## ⑥ 園田 寛

湖誠会の一員として、大津駅を中心とする街づくりの推進と、2年目を迎える朝の読書の一層の充実を図ってまいります。



## ⑦ 伴 孝昭

幹事（会計、書記）

大津百町を舞台とした、第二期大津市中心市街地活性化基本計画の推進と災害に強いまちづくりに取り組みます。



## ⑧ 竹内 照夫

幹事長

平野市民センターの移転新築については、平成26年度に設計、平成27年度に新築工事を実施し、平成28年度の開設に向けて全力を傾注します。



## ⑨ 竹内 基二

幹事（広報）

歴史文化を大切にしまちづくり、子育てや介護のための施設整備、交通事故のない環境づくりを進めます。



## ⑩ 鷺見 達夫

副幹事長

皆様方の声を市政に反映し『住んでよかった大津』を目指します。特に京阪唐橋駅踏切交通渋滞緩和に向け取り組んでまいります。



## ⑪ 近藤 真弘

初心を忘れることなく「安全で安心・活気と和みのあるまちづくり」を目指し、市民のための市役所改革と議会の活性化に向け全力で取り組みます。



## ⑫ 桐田 真人

学校教育施設の改修に取組み、さらなる教育環境の充実を目指します。また、地方議員として、議会機能の充実と強化に努めます。



## ⑬ 横田 好雄

昨年の台風18号被害に鑑み、大戸川ダムの建設・同河川改修の早期着工や同地先のは場整備促進に取り組む、また新名神及び南桐線の建設実現に努めます。



## ⑭ 青山 三四郎

政調会長

平成26年度は議会及び議員活動として、大津市議会BCP等、市民の皆さまに直結した政策を中心とした活動を行います。

### 大津市議会BCPの策定UNSN

東日本大震災、大津南部豪雨災害、そして昨年9月には台風18号による災害等を経験する中において、災害時における議会の責任と役割が問われています。防災や災害からの復旧・復興に敏感となる地域や市民からの要請に対して、議会としても、今一度、災害時や緊急時における課題に対して考え直す必要に迫られています。

災害時においては、復旧・復興に必要な予算などが市長によって専決処分されることが多く、二元代表制の一翼である議会が、予算の内容をチェックできないことが問題となっています。

そのような中、大津市議会では、ワークショップ形式を活用して議会BCP（業務継続計画）の策定を進めております。

議会が本来の機能を適正に果たすためには、まずは議員と事務局職員の安否確認が重要です。そして、情報を的確に収集し、適正な審議を行うための環境を整備することです。また、災害の規模や種類に応じて時系列に整理することも必要となります。

湖誠会としては、議会BCPが実効性のある計画となるよう、会派においても積極的に議論し、選出委員を通して計画に反映できるよう引き続き検討を進めていきます。

### 公共施設使用料金改定案を修正可決

歴史博物館や生涯学習センター、文化ホールなど公共施設の使用料について、平成23年3月に策定された施設使用料設定基準に基づき、統一した基準を定めることを基本として、施設ごとにその公共性を勘案し、現在の使用料を平成26年4月から最大1.5倍とする改定案が市長から提案されました。

湖誠会では、その目的や考え方については理解できるものの、市民のみならず、あまりにも急激な負担増となることから、平成26年4月からは増加率の上限を1.25倍とし、2年間据え置くことを内容とする修正案を提出し、可決されました。

